

RAIDについて

ネットワークビデオレコーダー（NVR）には、RAIDに対応している機種/対応していない機種がございます。
RAID対応している機種では、モードの違いもございますのでご注意ください。
詳細については、各営業担当にお問合せください。

RAID対応機種（2021年4月現在）

◆[RD-NF68128-4K2](#) 運用モード：0/1/5/6/10

◆[RD-NF68032-4K](#) 運用モード：0/1/5/6/10

RAID構成	最低必要HDD本数	実効容量	速度	耐障害性
RAID0	2本以上	HDD全容量(100%)	超高速	なし
RAID1	2本	HDDの1本分(50%)	低速	HDD1本
RAID5	3本以上	構成HDD - 1本	高速	HDD1本
RAID6	4本以上	構成HDD - 2本分	高速	HDD2本
RAID10	4本以上(2本単位)	全HDDの半分(50%)	高速	HDD1本～n本

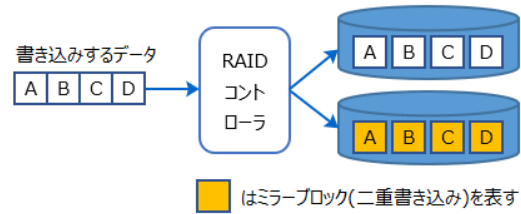
おすすめRAID構成（ASK TRADINGスタッフによる）

◆少ないHDDで冗長化したい・・・RAID1がおすすめ。
ただし、実際に利用できるデータ容量がハードディスク1本分となります。

◆重要データのため安全優先・・・RAID6がおすすめ。
ハードディスクの同時障害2本までデータは保全されます。
ただし、実際に利用できるデータ容量は全HDD数-2本分となります。

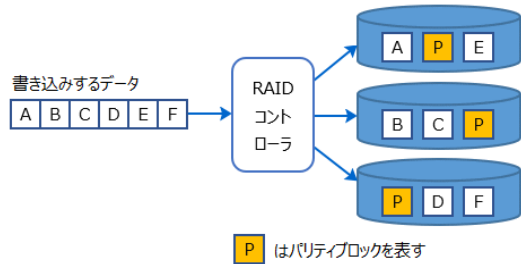
RAIDについて

◆RAID1（ミラーリング）



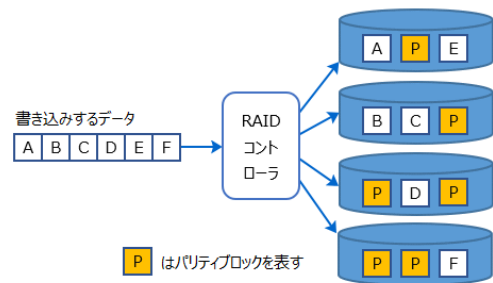
同じデータを2本のハードディスクに書き込みすることで耐障害性を高めた構成です。ハードディスク1本に障害が発生してもシステムは停止せずにデータも失われません。ただし、同じデータを二重で保管しているためハードディスク2本で1本分の容量しか使用できません。

◆RAID5



データを複数のハードディスクに分散して格納します。さらにパリティデータ（誤り訂正補正）もあわせて書き込みを行うことで、耐障害性を高めた構成となっています。

◆RAID6



データを複数のハードディスクに分散して格納します。さらにパリティデータ（誤り訂正補正）を二重で書き込みを行うことで、耐障害性を大幅に高めた構成となっています。